

# 国民主導の形で連合政府を

## 戦争法廃止へ

### 今言わなければ

国民連合政府の話を最初に聞いたときは難しいと思いました。他の野党の幹部と話しても、スタンドプレーだという批判がほとんど。でも、だんだんと共産党の本気度が世間に伝わってきた。実現の難しさは変わらないけど、今は国民の運動と一緒に共産党を含む野党も変わりつつある、現在進行形だと考えるようになってきました。そうい

元経済産業省官僚 古賀 茂明さん



こが・しげあき 1955年生まれ。東京大学法学部卒業後、通商産業省(現・経済産業省)省。2011年9月退官。オーラム4提唱者

うダイナミズムのなかでは、予想しなかったことが起きる可能性がある。どこの政党が主導権を

握るということではなく、国民の運動に民主党も共産党も乗ると考えればいい。今の民主党には政策が全く異なる人が集まっている。共産党との政策の違いを理由に頭ごなしに連合政府を否定するのはおかしいでしょう。

安倍政権の基本哲学は愚民思想です。時間がたち、違うテーマが話題になれば、国民は安保法制のことは忘れろと思っている。

安倍政権は「普通の」

国会前の出合い

学生や市民が安保法制に反対するために国会前に集まってきたことを脅威と感じています。デモの向こうに何千万人という「普通の」有権者のうごめきを感じるからです。来年の参院選で爆発するのではないかと。そういう潜在的な怖さを感じていると思います。

私心捨てるとき

僕も何度も国会前のデモに行き、たくさん感動的な出合いをしました。デモに参加したことがない人が、なにかしたいという切実な思いに駆られるりぼっちで国会前に来て、でも帰るときは一人じゃない。連帯を感じて家路につく。ここにこれからの民主主義の希望があります。

その時に問われるのは、国民と野党との間に信頼関係を築けているかです。国民の声に耳を傾け、維新はもちろん、民主党も共産党もさらに交わってほしい。鍵となるのは、共産党主導というイメージを消して、「国民主導」という形にもっていかれるかどうか。国民運動に乗るのであれば、どの野党もできるはず。今こそ、私心を捨てるべきです。

聞き手 佐久間亮  
写真 佐藤光信